

平成30年度

福祉だより

海蔵地区社協 福祉部

海蔵地区民生児童委員協議会

平成30年度も早や終了を目前として平成としては最後の福祉便りを発行させていただきました。海蔵地区社会福祉協議会の方々と話し合い、年度の終わりを無事にむかえられた事をお礼申し上げます。

保育園児、幼稚園児と高齢者との交流会、山手中学一年生及び地区内の住民を対象にした福祉体験教室、福祉講演会等開催でき、多少なりとも地域福祉に貢献できていればと考えています。このようなことを積み重ね、次年度からも更なる地域の皆様のご協力、ご意見を賜うことができれば地域福祉の充実につながるのではと考えます。

また、近年度は海蔵まちづくり協議会との関連もでてきて多様化を求められるのかもしれませんが、いずれにいたしましても、今まで通りご協力をよろしくお願い致します。

部長

平成30年度の年間行事を下記の通り取組み、実施致しました。

平成30年6月16日	山手中学校生徒を交えて福祉体験教室
平成30年7月5日	海蔵保育園児と高齢者との交流会
平成30年10月28日	海蔵地区文化祭にて福祉招待席
平成30年11月12日	海蔵幼稚園児と高齢者との交流会
平成30年11月19日	海蔵小学校4年生と土鍋による「炊き出し君」体験
平成30年12月7日	福祉講演会（認知症サポーター研修）
平成31年3月上旬	福祉だより発行



豊かな感受性を養う福祉体験教室(山手中学校1年生)

中P代表

平成30年6月16日 土曜日に山手中学校体育館にて、1年生の生徒207名と地域の方々と福祉についての体験教室が行われました。ご協力を頂いた事業所の海蔵地区社会福祉協議会・海蔵在宅介護支援センター・ヴィラ四日市在宅支援センター・四日市市北地域包括支援センター・四日市羽津医療センター・桜コミュニティ・日本ケアシステム・フランスベッドメディカルサービス・ハートケアサポート・ユマニテック看護助産専門学校の方々。地域協力者の海蔵地区民生児童委員・海蔵地区社会福祉部員・海蔵地区連合若生会により開催されました。

中学生が各ブースに分かれ、福祉についての話や福祉用具の取り扱い・身体障害者疑似体験・車椅子体験等の体験をしました。実際に様々な事を体で体験することによって、有意義な時間を過ごせ、中学生とも、良い交流の場となりました。



海蔵保育園児と高齢者との交流会

保P代表

平成30年7月5日 海蔵保育園にて、地域の高齢者の方々と園児との交流会が行われました。園児の歌の発表から始まり、その後は、竹筒に思い思いの絵を描いてペン立てを作り、七夕が近いということもあり、おりがみで笹飾りを作ったりと、地域の方々にたくさん声をかけていただきながら素敵な時間を過ごすことができ、また、とても良い経験ができたと思います。ありがとうございました。



平成30年 海蔵地区文化祭

民児協代表

平成30年度の地区文化祭が、10月27・28日に開催されました。福祉部・民児協ではお一人暮らしの方に福祉招待席の案内状をお渡ししました。参加申し込みは54名と年々増加しています。これも皆様お元気で一人になられてもお過ごしいただいている証だと思っています。

28日に参加された方には福祉券とお弁当とお茶をお渡ししました。午前中は体育館で子ども達の演技や演奏また地域の方々の歌や踊りを楽しんでいただき、展示作品を見て感動して喜ばれていました。午後からはピアノ演奏を鑑賞され一日が過ぎました。

次回もお元気で参加していただける事を願っています。お待ちしております。



海蔵小学校4年生と土鍋による「炊き出し君」体験

民児協代表

平成30年11月19日 海蔵小学校体育館において、小学4年生134名が20班に分かれ、土鍋を使ってご飯を炊くことを教えていただきました。講師は「みえ減災啓発支援ネット」の皆さんです。

防災倉庫にあるものを活用して自分たちでご飯を炊く訓練です。炊き出し準備から後片付けまで、子供たち全員が行いました。災害時、電気・水道・ガスが一切使えない状況を想定しての訓練です。浸し時間・蒸らし時間の空き時間を利用して、地震についての概要説明や速報映像を学びました。



海蔵幼稚園児と高齢者との交流会

幼P代表

平成30年11月12日 海蔵幼稚園にて、地域の高齢者の方と園児との交流会が行われました。また、福祉部員・民児委員の方がカレーを作ってくださいました。ホールで園児の歌や踊りがあり、続いてゲストの方の南京玉すだれを見たり、体験したり、笑いが絶えない時間を過ごしました。昼食には作っていただいたカレーを園児と高齢者の方と一緒においしく食べました。おいしいカレーを食べながら高齢者の方たちとおしゃべりを楽しんでいる園児の姿もありました。心もお腹も、いっぱいになった交流会でした。ありがとうございました。



福祉講演会（認知症サポーター研修）

民児協代表

平成30年12月7日 海蔵地区市民センターにて、四日市北地域包括支援センターの青木悦美氏による認知症サポーター養成講座がありました。認知症サポーターは認知症を理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援するのが目的です。

認知症サポーターができることは、こまっている様子が見えたら「何かお手伝いすることがありますか？」とひと声かける。理解者であることを示す。認知症の介護家族へはねぎらいの言葉をかけるなど、DVDをみながらわかりやすく説明していただきました。

だれもが安心して住みなれた場所で暮らせるため、有意義な講演でした。最後に認知症サポーターのしるしである「オレンジリング」をいただきました。

